

静岡県医療健康産業研究開発センター
指定管理者評価委員会 評価結果

静岡県経済産業部 産業革新局新産業集積課

1 開催日時・場所

日時 令和7年8月21日(木) 13時30分～16時15分

場所 静岡県医療健康産業研究開発センター 大会議室

2 指定管理者名

公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構

3 指定期間及び評価対象期間

指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)	
対象評価	年次評価	令和6年4月1日～令和7年3月31日(1年間)
	期間評価	令和3年4月1日～令和7年3月31日(4年間)

4 評価手順

(1) 指定管理者による実績報告

(2) 質疑応答

(3) 委員の採点による評価

5 評価委員会委員

区分	氏名	役職	備考
委員長	岩城 徹雄	一般財団法人アグリオープンイノベーション機構 専務理事	有識者
委員	山田 静雄	静岡県立大学大学院 薬学研究院 特任教授	有識者
委員	竹村 祐輔	タケムラビジネスコンサルタンツ 中小企業診断士	有識者
委員	前川 純	テルモ株式会社MEセンター 副センター長	施設利用者
委員	平野 光輝	東海部品工業株式会社 取締役	施設利用者

6 評価結果 ＜年次評価＞

平均点	総合評価
82.8 点	良

総合評価区分	評価得点率	摘要
優	85%以上	大いに評価できる
良	70%～85%未満	評価できる
可	50%～70%未満	普通
要改善	50%未満	改善を要する

区分	項目	評価の視点	配点	平均点
基本的 事項	設置目的の達成	・数値目標と実績(事業化)	10	6.8
		・ " (共同研究)	10	7.6
		・ " (交流ホール・会議室)	5	3.8
管理運営 状況	職員配置、教育研修体制	・職員配置、教育研修は適正に行われているか	5	4.2
	危機管理体制の構築	・入居者と連携した体制が整っているか	15	14.4
		・必要なマニュアルの作成がされているか		
		・訓練等によりマニュアルの有効性を確保しているか		
・定期的な確認等により予防対策がなされているか	5	4.4		
トラブルや苦情への対応	・対応は迅速かつ適切に実施されたか	5	4.8	
サービス 向上、利 用増進	入居者支援事業の実績	・事業化又は共同研究を促進し、効果が認められる ものであったか	15	12.0
	連携、交流事業の実績	・地域を含め、オープンイノベーションを促すものか	15	12.6
	会議室の利用率向上	・利用率向上に向けた取組みはされているか	5	4.2
	利用者サービスの実績	・常設展示場など適切な運営が行われているか	5	4.0
経営状況	収支実績	・収支計画及び実績は妥当か ・効率的な管理を行っているか	5	4.0
合 計			100	82.8

○委員講評 (主な助言事項・意見)

- ・常設展示場について、来場者が見たくなるような工夫をしてほしい。
- ・センター外の方々に会議室の利便性の良さについて、コマールを検討してもらえば、より活性化するかと思う。それにより来場者も増え、展示物を見る機会も増えるかと思う。
- ・日々手厚いサポートに感謝している。
- ・この環境が維持されるよう、リスクの抽出、予防措置に一層力を入れてほしい。
- ・短期的な目標(会議室の稼働率等)について、改善努力された跡が見える。一方で長期的な取組(事業化・製品化件数及び共同研究件数)については、数値的に途上となった。
- ・全体的には確実に進んでいると評価できる。
- ・会議室の提供方法などは、県とより良い方法を検討されたい。
- ・大いに評価できる。
- ・トラブルへの対応や食堂の満足度改善など、入居者に寄り添った事業ができていると認める。
- ・今後も入居者への支援を厚くし、そこから地域へ経済効果が広がっていくようさらなる充実を期待する。

<期間評価>

平均点	総合評価
82.6 点	良

総合評価区分	評価得点率	摘要
優	85%以上	大いに評価できる
良	70%～85%未満	評価できる
可	50%～70%未満	普通
要改善	50%未満	改善を要する

区分	項目	評価の視点	配点	平均点
基本的事項	設置目的の達成	・数値目標と実績(事業化)	10	8.0
		・〃 (共同研究)	10	8.0
		・〃 (交流ホール・会議室)	5	4.0
管理運営状況	職員配置、教育研修体制	・職員配置、教育研修は適正に行われているか	5	4.2
	危機管理体制の構築	・入居者と連携した体制が整っているか	15	12.6
		・必要なマニュアルの作成がされているか		
		・訓練等によりマニュアルの有効性を確保しているか		
トラブルや苦情への対応	・定期的な確認等により予防対策がなされているか	5	4.4	
サービス向上、利用増進	入居者支援事業の実績	・事業化又は共同研究を促進し、効果が認められるものであったか	15	12.6
	連携、交流事業の実績	・地域を含め、オープンイノベーションを促すものか	15	12.0
	会議室の利用率向上	・利用率向上に向けた取組みはされているか	5	4.0
	利用者サービスの実績	・常設展示場など適切な運営が行われているか	5	4.2
経営状況	収支実績	・収支計画及び実績は妥当か ・効率的な管理を行っているか	5	4.2
合 計			100	82.6

○委員講評 (主な助言事項・意見)

<ul style="list-style-type: none"> ・概ね良く活動されていると思う。年々経験を重ねてスムーズに回ってきている。 ・各年しっかりとした対応に感謝している。最終年度は過去を振り返りながら、当初の目的を完遂すると同時に、次期に向けた提案準備をされることを期待する。 ・経費（特に入居者への支援）について、戦略的、重点的及び集中的に予算化して、成果に結びつけてほしい。 ・全体的に評価できる。 ・何事も経験から得られるものが大きいため、この5年間で得られたものを活かして、更に高めて行ってほしい。 ・全体的に指定管理者業務を適切に実施していると認める。 ・事業化・共同研究について、具体的な成果をあげ、地域経済に貢献できるよう、引き続き尽力してほしい。
--